

2021年1月12日

報道関係各位

Bike Life Lab supported by バイク王

## Bike Life Lab supported by バイク王 『リセール・プライス』ランキングを発表 『ヤマハ・SR400』が首位獲得！

対象期間 2020年9月～2020年11月

バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信することを目的に活動を行う『Bike Life Lab supported by バイク王』（所在地：東京都港区、運営：株式会社バイク王&カンパニー）は、2020年9月～2020年11月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。35回目となる今回は「ヤマハ・SR400」が首位に輝きました。

### ◇『ヤマハ・SR400』が首位獲得！

### ◇ホンダ・CT125 ハンターカブが 初登場 2位にランクイン！



### ◇史上初！上位3車種 90ポイント越え！

#### ◇佐川健太郎氏 インプレッションムービー公開中

『リセール・プライス』ランキングにて、上位10車種にランクインしたモデルを始め、複数の人気車種をモーターサイクルジャーナリストの佐川健太郎氏にインプレッションしていただきました。

詳しくはURL ( <https://www.8190.jp/bikelifelab/movie/shijou/> ) をご覧ください。

※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「Bike Life Lab 調べ」とご明記ください。

※本調査結果は、下記のサイトでも公開されております。

・Bike Life Lab supported by バイク王(<https://www.8190.jp/bikelifelab/news/resale-ranking/>)

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

#### プレスリリースに関するお問い合わせ先

##### ■株式会社バイク王&カンパニー

Bike Life Lab (バイクライフラボ)

担当: 山下、西方

T E L 03-6803-8866

E-mail [bikelife\\_lab@8190.co.jp](mailto:bikelife_lab@8190.co.jp)

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

##### ■株式会社スクランブル

プランニング局

担当: 高島、小野

T E L 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail [bike-o@scramble.jp](mailto:bike-o@scramble.jp)

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

## ■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・SR400	99.2Pt
2	New ホンダ・CT125 ハンターカブ	96.4Pt
3	カワサキ・Z900RS	91.9Pt
4	ホンダ・CRF1100L DCT	88.2Pt
5	ホンダ・CB400SUPER FOUR	86.0Pt
6	カワサキ・Ninja 400	84.6Pt
7	New ホンダ・CRF1100L	84.4Pt
8	ホンダ・レブル 250	83.8Pt
8	カワサキ・Ninja 250	83.3Pt
10	カワサキ・Z900RS CAFE	82.9Pt

◇対象期間 2020年9月～2020年11月

35回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ヤマハ・SR400』が2位に2.8pt差を付け首位に輝きました。

ヤマハ・SR400は、第30回に初めて首位を取り、その後の第33回に首位奪還し、初めて首位を取ってから3回目の首位獲得となりました。ネオクラシックのデザインが新鮮に映る若年層のライダーまで幅広い層から支持された車種であり、リセール・プライスの結果からもわかるように、発売されてから人気不衰え需要はあることに加え、良い個体が市場に出回ることが少なく高値傾向であると推測されます。

また、今回のランキングでホンダ・CT125 ハンターカブが初登場2位にランクインしました。ホンダ・スーパーカブ C125 をベースに専用装備でオフロード性能を上げたホンダ・CT125 ハンターカブは、郊外へのツーリングやキャンプなどのアウトドアレジャーへの移動手段として、楽しみをより一層広げる機能性を備えたモデルです。また、各メーカーから発売されているカスタムパーツなど、オーナーの好みに変えられることや250cc以上のバイクに比べて維持がしやすいことも挙げられます。発売から約半年となり、中古車市場へ流通し始めたばかりであることが高値傾向であると推察されます。

新年を迎え春のバイクシーズンに向かっていく中で、今後のランキングにどのような変化をもたらすのか、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

## ■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	New ホンダ・CT125 ハンターカブ	96.3Pt
2	ホンダ・スーパーカブ 110	80.4pt
3	ホンダ・クロスカブ 110	79.8Pt
4	ホンダ・モンキー125	76.6pt
5	ホンダ・モンキー125 ABS	75.4Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・レブル 250	83.8Pt
2	カワサキ・Ninja 250	83.2Pt
3	ホンダ・CRF250L	82.8Pt
4	カワサキ・Z250	80.6Pt
5	カワサキ・VERSYS-X 250 TOURER	76.4Pt

## ・ 中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・SR400	99.1Pt
2	ホンダ・CB400SUPER FOUR	85.9Pt
3	カワサキ・Ninja 400	84.5Pt
4	ホンダ・CBR400R	81.1Pt
5	ホンダ・400X	79.0Pt

## ・ 大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	91.8Pt
2	ホンダ・CRF1100L DCT	88.1Pt
3	New ホンダ・CRF1100L	84.4Pt
4	カワサキ・Z900RS CAFE	82.8Pt
5	ホンダ・CBR650R	80.2Pt

### ■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2021年1月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、200万台以上の累計取扱台数を誇る『バイク王』のデータを基に、Bike Life Labが独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

### ■ 算定基準

- ・ 国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2021年1月現在・逆輸入車を除く)
- ・ 新車販売価格は2021年1月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・ モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・ 期間内に、Bike Life Lab 独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

## 【Bike Life Lab supported by バイク王について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織であり、2017年3月からは「Bike Life Lab (バイクライフラボ)」というバイクコンテンツサイトを運営しております。

2019年2月より、ライダーにとってより身近で、より強固なエンゲージメントを持った情報発信組織に成長していくために、「バイク王 バイクライフ研究所」を「Bike Life Lab supported by バイク王」に名称変更し、併せてバイクコンテンツサイト名も「Bike Life Lab supported by バイク王」に統合しました。

Bike Life Lab supported by バイク王は、バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信していくことで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

Enjoy Life with Bike

バイクがあれば もっと楽しい

**Bike Life Lab**  
supported by **BIKE 王**